

平成30年度 第1回総合教育会議

平成30年5月23日
高梁市図書館4階多目的室

1

平成31年度

高梁総合文化会館

→ 指定管理者制度の導入
(貸館業務と施設管理業務)

高梁市文化交流館

→ 直営 (中ホールの舞台業務を含む)

3

指定管理者制度の導入に向けて

文化センター

2



高梁総合文化会館

昭和60年4月竣工

(33年経過)

維持管理費 (人件費を除く)

69,802千円

実収入

14,819千円

4



高梁市文化交流館
平成9年4月竣工
(21年経過)

維持管理費 (人件費を除く)
68,806千円
実収入
3,406千円

5

1. 指定管理者制度のメリット

- ① 住民サービスの向上
- ② 民間能力の活用
- ③ 舞台業務委託料などの経費削減

7

(参考)

有漢生涯学習センター
平成17年2月竣工
(13年経過)

維持管理費 (人件費を除く)
7,563千円
実収入
126千円

川上生涯学習センター
平成4年6月竣工
(25年経過)

維持管理費 (人件費を除く)
8,297千円
実収入
94千円

6

2. 指定管理者制度導入の課題

- (1) 施設の役割の再検討
- (2) 舞台業務委託料の見直し
- (3) 利用料の減免

8

2. 指定管理者制度導入の課題

(4) 施設ごとの課題

○高梁総合文化会館
清水比庵室

○高梁市文化交流館
歴史美術館、所蔵文化財、
公民館

9

スポーツ推進計画の策定について

【高梁市スポーツ推進計画（案）】

スポーツ振興課

11

3. 今後のスケジュール

7月 文化会館運営委員会(臨時)の開催

9月 条例改正

10月～11月 指定管理者の募集

11月～12月 候補者の決定

10

【高梁市スポーツ推進計画（案）】

1) 計画策定の趣旨

- ①スポーツ基本法に基づき、国のスポーツ基本計画を参考に、高梁市の実情に即した「高梁市スポーツ推進計画」を策定する。
- ②本市スポーツ推進の指針を示し、市民、各団体、行政の役割を明確化し、互いに連携と協働を図っていくための具体的方策を明らかにすることを目的とする。

2) 計画の期間

- ①平成30（2018）年度から平成39（2027）年度までの10年間

12

【高梁市スポーツ推進計画（案）】

3) スポーツの定義



【高梁市スポーツ推進計画（案）】

※全部で、5の基本施策と、19の推進項目があります※

3) 基本体系

②基本施策

1. ライフステージに応じた
スポーツ活動の推進と
組織の育成

2. アスリートを育成する
指導体制の確立と
競技スポーツの推進

③推進項目

(1)スポーツ活動の場の提供
(2)総合型地域スポーツクラブの育成
(3)障害者・高齢者スポーツの推進
(4)スポーツ推進委員の育成

(1)トップアスリートの支援
(2)スポーツ指導者の養成・確保
(3)一貫指導体制の整備
(4)トップレベルの技術に触れる機会
の充実

15

【高梁市スポーツ推進計画（案）】

3) 基本体系

①基本理念

「愛らぶスポーツ・愛らぶ高梁」

～ 「する」 「みる」 「ささえる」
スポーツを通じた活力あるひと・まちづくり～

14

【高梁市スポーツ推進計画（案）】

※全部で、5の基本施策と、19の推進項目があります※

3) 基本体系

②基本施策

3. 未来を担う青少年の育成
と学校体育・スポーツの
充実

4. 安心安全・交流拠点とし
てのスポーツ施設の充実
整備

③推進項目

(1)子どもの体力向上への取組
(2)学校体育の充実
(3)スポーツ少年団及び運動部活動
への支援・充実
(4)スポーツを通じた青少年の健全育成

(1)誰もが安心して利用できる施設
の整備
(2)交流拠点としての機能を果たす
施設の整備
(3)スポーツ施設の効率的な管理運営
(4)学校体育施設の開放

16

【高梁市スポーツ推進計画（案）】

※全部で、5の基本施策と、19の推進項目があります※

3) 基本体系

②基本施策

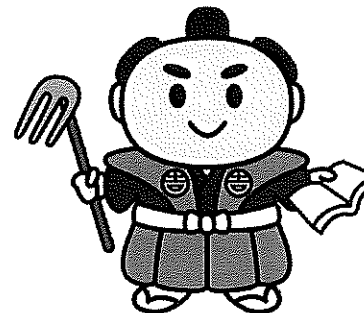
5. スポーツを通じた絆と
活力あるまちづくりの
実現

③推進項目

(1)国・県レベルの競技大会等の開催
(2)トップチームとの交流・支援
(3)スポーツボランティアの育成

17

方谷記念館整備事業について



社会教育課

【高梁市スポーツ推進計画（案）】

4) 計画の課題事項

- ①小中学校の体力向上の取組
- ②運動部活動の在り方
- ③高梁市スポーツ振興アドバイザー事業の方針

5) 今後のスケジュール

◎高梁市スポーツ推進審議会にて審議し、平成30年12月末までに成案化する。

- 6月 審議会開催 計画案の協議
- 7月 審議会開催 計画案の協議
- 8月9月 教育委員会へ中間報告
パブリックコメント実施
- 10月 審議会開催 計画案の修正協議、答申案の協議
- 11月 審議会から教育委員会への答申、教育委員会へ報告
- 12月 成案化、公表

18

1. 施設整備の背景



【新総合計画】…地域文化・芸術活動の振興を図ります。

郷土の偉人 山田方谷をはじめとする歴史的人物の顕彰を行います。

【総合戦略】…「山田方谷」の顕彰・啓発

財政破綻した備中松山藩を立て直した「山田方谷」の改革理念やその手法、そして多くの人々に感銘を与えた「思想」を市を挙げて学ぶとともに、「山田方谷」の残した偉業を全国に発信し、「学びのまち」高梁を形成する。

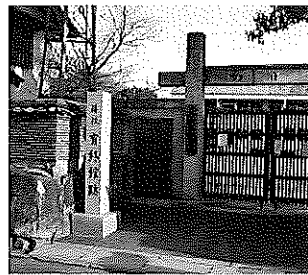
2. 関連施設等



備中高梁駅前



郷土資料館前



有終館跡

2. 関連施設等

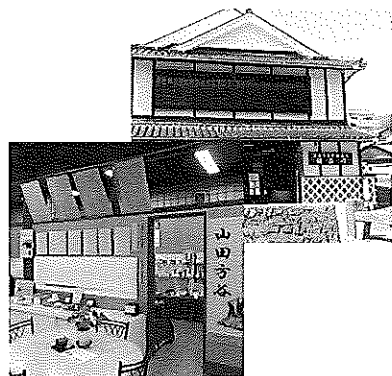


方谷の里ふれあいセンター

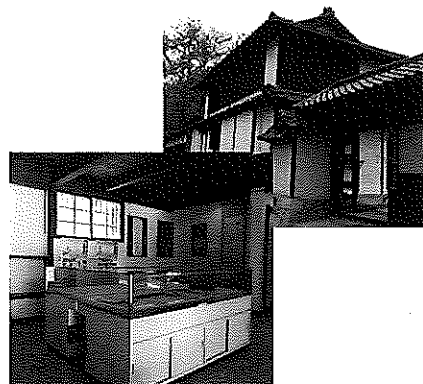


方谷園

2. 関連施設等



紺屋川物産館

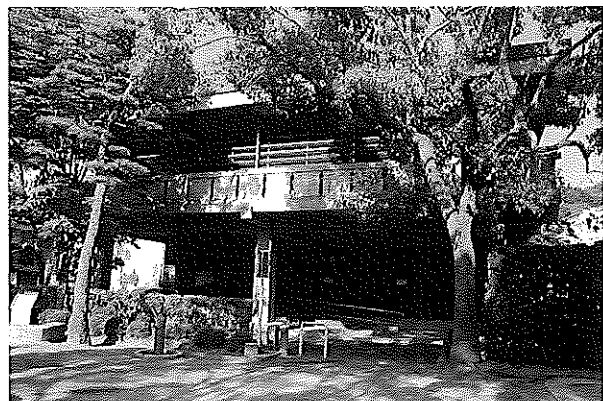


埴原郵便資料室

3. 施設コンセプト等

- 備中高梁駅から武家屋敷、備中松山城の導線に、山田方谷を紹介する施設を整備する。
- 山田方谷を顕彰する資料展示は歴史美術館で行い、山田方谷記念館は方谷を紹介する各種資料のレプリカやパネル展示を中心としたガイダンス施設とする。
- 新総合計画や総合戦略の目的達成のほか、NHK大河ドラマ放映実現や、新たな観光の流れをつくり、市の活性化に資する。
- 事業費 23,663千円 トイレ改修、展示委託

4. 施設外観

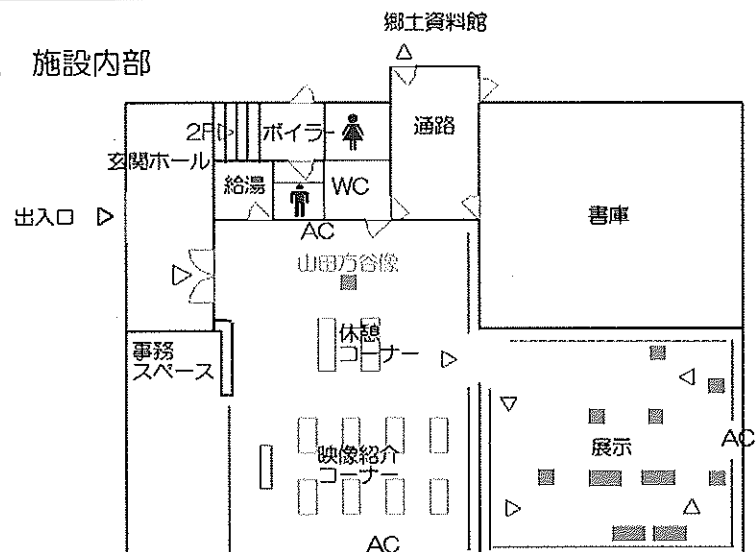


旧高梁中央図書館

6. 館内イメージ図



5. 施設内部



7. スケジュール

- 【トイレ】 5～8月 … 設計、入札、改修工事
- 【展 示】 5～9月 … 展示委託
構成・デザイン考案
パネル等壁面・照明工事
展示品収集、レプリカ・解説等作成
展示ケース・台作成
- 【準 備】 6～9月 … 運営体制、開館準備
- 【開 館】 10月

部活動指針の策定について

学校教育課

29

解決すべき課題

- (1) 設置する学校に係る部活動の方針の策定
 - ・適切な休養日等の設定について
 - ・地域単位の部活動について
 - ・文化部の活動について
 - ・地域との連携について
- (2) 体力づくりについて

31

事業概要と現状

スポーツ庁 (H30.3)
『運動部の在り方に関する総合的なガイドライン』策定



市町村教育委員会
「設置する学校に係る運動部活動の方針」を
策定しなければならない

30

解決すべき課題

- (1) 設置する学校に係る部活動の方針の策定
 - ・適切な休養日等の設定について
 - 中体連主催以外の大会への参加のあり方

スポーツ庁ガイドライン

学期中：週当たり2日以上の休養日を設定する
(平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日は少なくとも1日以上を休養日とする)
長期休業中：学期中に準じた扱いを行う

32

解決すべき課題

- (1) 設置する学校に係る部活動の方針の策定
- ・地域単位の部活動について
チームの在り方

33

解決すべき課題

- (1) 設置する学校に係る部活動の方針の策定
- ・地域との連携について
スポーツ少年団等との連携
- 学校単位から地域単位へ
(土曜日・日曜日の活用)

35

解決すべき課題

- (1) 設置する学校に係る部活動の方針の策定
- ・文化部の活動について
公民館等との連携
- 学校単位から地域単位へ
(土曜日・日曜日の活用)

34

解決すべき課題

- (2) 体力づくりについて
- ・H29年度体カテスト
高梁市 小学校：県平均並み
→ 中学校：県平均以下
- ↓
- 各校で改善プランを作成し、学校経営案の「体」の重点項目に取り上げて取り組んでいる
(例) 駅伝への取り組み

36

課題解決の方針と目標

(1) 審議会の設置

校長会、教職員、中体連、PTA、スポーツ推進委員、有識者などで構成される審議会を定期的に開催

第1回開催はH30、6月中を目標とする

(2) 部活動に係る活動指針の完成

H30、9月末を目標とする

37

目的

地域に根差した学校として地域から愛され、魅力的な学校になるよう、教育体制並びに教育振興の在り方について研究・協議し、支援することによって県立高校の将来にわたっての存続に資すること

39

県立高校の在り方を考える協議会

学校教育課

38

高梁高校の取組

- 方谷学（地域人材育成プログラム）による人材育成
- 小学校との連携強化（陸上指導や学習サポート）及び中学校への出前授業
- 地域との連携強化（地域行事に参加）

40

高梁城南高校の取組

- 高梁学（高梁を知るための学習）での高梁の魅力定着
- 小学校との連携（電気科の体験教室、学校新聞配付等）強化及び中学校への出前授業
- 地域の教育力としての人材活用による地域との連携強化

41

魅力ある学校づくりのために 高梁高校の今後の取組

- 備北地区の進学拠点校として実績を上げる
- 岡山県北地域プログラムへの進学
- 看護系、保育系の人材育成など

43

高梁市の取組

- 通学費の援助
（バス通学費2分の1補助）
- 奨学金貸付
- 就学前、小、中、高一貫教育の実践

42

魅力ある学校づくりのために 高梁城南高校の今後の取組

- 社会の要請にマッチした人材の育成と地域の人材を育てる学校を目指す
- H31に実施する入学者選抜より全国募集を始める予定
- アニメスタジオとの連携

44

高梁市の今後の取組

- 寄宿舍の用意及び寮の改修費用負担
(ふるさと納税活用)
- 学校教育課が学校と地域を結ぶパイプ役となり必要な情報提供や支援を行う
- 学校教育課が県立高校と中学校を結ぶパイプ役となる。
- 県教委との窓口
- フランス アンペール高校との教育交流

45

- 教員配置や人材確保において配慮すること。
- 小規模化する学校経営予算等において配慮すること。
- 県として「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」の改正を国へ申し入れること。

47

申し入れ事項

- 高梁高校、城南高校を統合せず2校とも存続とすること。
- 高梁高校2学科、城南高校3学科を存続とすること。
- 全国募集に際して、募集定員に占める割合を5%から20%に引き上げること。

46